

「時間歩行試験 (timed walk test)」は特発性肺線維症 (IPF) の重症度と生存率を予測する

塩谷隆信

秋田大学医学部保健学科理学療法専攻

目的：特発性肺線維症 (idiopathic pulmonary fibrosis ; IPF) は中央生存期間が約 3 年でたえず進行性の予後不良な疾患である。現在、安静時の気流速度や肺気量が IPF の臨床経過や予後の指標として使われている。本研究は 6 分間歩行試験の改編版である時間歩行試験 (timed walk test) が、IPF の重症度や予後を正確に特徴づけるかどうかを検討することを目的とした。

対象・方法：対象は、典型的な IPF である 28 名 (平均年齢 62.7 歳、男性 19 名、女性 9 名、%FVC59.9%、%FEV₁61.1%、PaO₂67.1 mmHg、平均罹病期間 4.3 年) とした。時間歩行試験は、基本的には 6 分間歩行試験であるが、プライマリー・エンドポイントを歩行終了時の酸素飽和度と歩行スピード、セコンダリー・エンドポイントを歩行距離と歩行時間とするものである。本法では酸素飽和度が 88% 以下となる症例では酸素吸入 (2 l/分) を用いた。時間歩行試験と現在の重症度の指標がベースラインで測定された。参加者は、前向きに時間歩行試験の諸指標と予後との関連性について 4 年間以上追跡された。

結果：運動終了後の酸素飽和度と時間歩行試験のパラメーターである歩行速度、拡散能、安静時の動脈血酸素分圧がそれぞれ強く関連した。コックス比例ハザードモデルでは、運動終了後の酸素飽和度とその低下、歩行距離と歩行速度が生存率に大きく関連した。すなわち歩行後酸素飽和度の低下が 14.5% の群では 1,000 日生存率が 0% であるのに対して低下が 5% の群では 80% であり、一方、歩行速度が 0.45 m/秒以下の群では 1,000 日生存率が 0% であるのに対して 1.38 m/秒以上の群では同じく 80% と有意に高かった。非修正のロジック解析では、2 年時点での死亡のオッズ比がこれらの指標と有意に関連した。

結論：時間歩行試験における酸素飽和度の低下および歩行スピードは進行性の IPF の重症度および長期予後に深く関連する。

Hallstrand, TS, et al : The timed walk test as a measure of severity and survival in idiopathic pulmonary fibrosis. Eur Respir J 25 : 96-103, 2005

英国理学療法協会手引き—臨床教育における障害のある理学療法学生の支援

進藤伸一

秋田大学医学部保健学科理学療法専攻

目的：英国の障害者差別禁止法 (DDA, 2002 年制定) は、その範囲に教育機関が提供する臨床教育も含まれるため、障害のある理学療法学生の臨床教育に関して、英国理学療法協会は本手引きを作成した。

構成：手引きは、要約 (2 頁)、本文 (6 章からなり 35 頁)、そして用語説明など (7 頁) からなっている。主な内容は、① 背景となる法律の概要、② 養成校、実習施設、学生のそれぞれに対する具体的な手引き、そして③ 障害種別 (5 種) ごとの手引きである。

内容：ここでは、実習施設用の手引き (10 項目) について簡単に紹介する。① 職員研修：実習に先立ち、施設として研修を行う。② 担当職員：この職員は、DDA を職場に生かして臨床実習でも差別が起きないように、障害学生、実習指導者、養成校と相互に協力する。③ 環境整備：説明資料が印刷されたものばかりなら、視覚障害などに対応できるよう事前に電子化しておく、などである。④ 情報開示：障害学生は、一般に自分の障害について公表を避ける傾向があり、養成校は本人の許可なく学生の個人情報を伝えることができないので、実習予定学生から実習指導者に電話がいったとき、実習指導者は実習で特別な支援が必要かどうかを直接確かめる。⑤ 情報保護：学生の個人情報は、本人の許可なく他のスタッフに知らされないし、その内容も必要なものに限られる。⑥ 学生配置：養成校は、障害学生の配置に先立ち、施設に事前の準備を依頼する。⑦ 事前訪問：学生は、実習開始前に実習施設を訪問し、実習指導者と実習について話し合う。⑧ 特殊設備：実習で必要となる設備は実習施設で準備する。⑨ モニターと修正：実習がうまくいっているかチェックし、必要なら修正する。⑩ 実習指導者支援：障害学生を担当する実習指導者に対して、職場や養成校からの支援体制をとる。

養成校用や学生用の手引きも、こうした具体的な内容が記載されており参考になることが多い。

The Chartered Society of Physiotherapy : CSP Guidance—Supporting disabled physiotherapy students on clinical placement. The Chartered Society of Physiotherapy. CSP 332, pp1-44, 2004